

第16回 伊万里梅まつり



2月17日、西九州一の広さを誇る木須町の伊万里梅園藤ノ尾で、伊万里梅まつりがありました。これは、生産量県内一の梅の産地をPRし、多くの人に梅を身近な食材として感じてもらうと、JA伊万里が毎年開催しているものです。この日は、梅加工品や農産物などの直売のほか、小学生による梅の学習発表や梅の種飛ばし大会など、さまざまな催しが行われました。咲き誇る梅の花の中、訪れた多くの人たちは、待ち望んだ春の訪れを感じて楽しんでいました。



勢いをつけて梅の種発射!



演奏中のポーズがピタリと決まる大川内保育園のせいら太鼓



梅にちなんだ寸劇で梅についての学習成果を発表する牧島小の児童



久原保育園による力強いエイサーの演舞



たくさんの人でにぎわう梅加工品などの直売所



梅の木には俳句の短冊が掛けられています

編集室から

私が広報伊万里の担当となつて早3年が過ぎようとしています。休日開催されるイベントなどの取材も多く、体調がすぐれないときや疲れがたまっているときなどは、「休みたい」と思うことがあるのも本音。しかし、気持ちを切り替えいざ取材に向いてみると、そこには必ず、地域のため、住みよい社会の実現のために、実りあるイベントにしようとする懸命に頑張っている市民の皆さんの姿があります。そんな熱意あるイベントは内容もすばらしく、取材者の立場だけでなく一人の参加者としても心から楽しみ、帰りには「来て良かった」といつも思います。本紙を通して主催者や参加者の思い、現場の空気感などを、参加できなかった人にも感じてもらうためにも思いながら、編集作業に勤しむ日々です。(祐)



人の動き

平成31年2月1日現在		
●人口	55,050人	(- 33)
●男	26,604人	(- 6)
●女	28,446人	(- 27)
●世帯	23,363世帯	(- 3)
	()	は前月比

この冊子は、1部当たり約27円で作成されています(人件費など間接経費は含まれていません)。また、企業広告による掲載料は、広報伊万里の作成費の貴重な財源となっています。